

道風記念館 特別展「岡寺版集帖」を開催 ～江戸時代の書家・韓天寿が刻した中国名跡を味わう～

1 内 容

書の鑑賞や、学書の手本のためにつくられた名跡の複製本を法帖といい、なかでも多くの名跡を集めたものを集帖といいます。

江戸時代、唐様書道が流行すると、日本でも和様の法帖だけではなく中国の名跡を刻した法帖がつくられるようになりました。日本で制作された集帖として、『岡寺版集帖』、『垂裕閣法帖』などが挙げられます。なかでも『岡寺版集帖』は、当時刻帖制作の第一人者であった韓天寿が関わったもので、版木が現存することでも貴重です。

韓天寿は私財をつぎ込み、大変な情熱をもって、当時手に入れることが叶う最上の中国の法帖（集帖）・碑拓本を収集し、法帖制作に生命をかけました。韓天寿が刻帖の基としたのは、どんなものだったのか。制作過程を丁寧に追い、その秘密に迫ります。日本の法帖、その基となった中国の法帖、さらに遡って原碑拓本を見比べて中国の名跡を味わい、奥深さを感じることができる展覧会です。

2 みどころ—初公開資料を一堂に！書専門の美術館ならではの「日本の集帖」の展覧会

日本で制作された集帖があるというのはほとんど知られておらず、三重県の指定文化財である『岡寺版集帖』をはじめ、日本で制作された代表的な3集帖がまとめて展示される機会は今までありませんでした。特に今回展示する韓天寿が刻した『酔晋斎法帖』は、今まで現存しないと思われていたこともあり、展示されることがなかったため、大変貴重な機会です。

また、本展では岡寺版集帖の基になった法帖や拓本も展示します。これらと比較すると、複写機も写真機もない時代に制作されたものとは思えないほど正確で、韓天寿の集帖制作への熱量がうかがえます。本物の拓本と日本の集帖を同時に味わえる、他ではみられないぜいたくな展覧会です。

3 展覧会概要

- (1) 会期 令和6年9月6日（金）～10月14日（月・祝）
- (2) 開館時間 午前9時～午後4時30分
- (3) 休館日 月曜日（祝休日の場合は翌日）
- (4) 観覧料 一般500円、 高校・大学生300円、 中学生以下無料